

令和元年度 大阪府立信太高等学校 第2回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和元年11月15日(金) 10時30分～12時30分

2 出席者(敬称略)

竹本 加奈(P T A会長) 福喜多 弘(信太中学校校長)

児玉 有里絵(後援会) 堀古 弥生(堀古医院)

安原 佳子(桃山学院大教授) 木村 重房(桃山学院大講師)

3 本日の時程について

4 授業見学

5 信太高等学校の教育活動の説明

- ・学校経営計画進捗状況(校長より)
- ・授業アンケート報告(校長より)
- ・学校教育自己診断について(首席より)
- ・進路状況(首席より)

6 意見交換

(委員) 小学校や中学校では、今後、授業でグループワークが必須となる。信太高校での取り組みや経緯を教えていただきたい。

(首席) ここ数年でグループワークが急増したが、今は減少した。実践する中でグループワークは毎時間行うより、単元毎に1回など折を見て行う方が効果的だと思う。今は、振り返りの時間を入れる先生が多いと思う。

(委員) アクティブラーニングは大学生が講義形式の授業を受けるだけでは社会に出て役立てられないというのが、はじまり。それが、大学→高校→中学校→小学校へと降りてきている。信太は先生方がうまく取り組んだので、良い方向に向かっていると思う。

(委員) 信太の生徒の個性が良い感じが出ている。ここ数年見てきたが、年々、生徒は穏やかになってきていると思う。共生も年々良くなっているように感じる。

(委員) 学年によって感じもちがって面白い。可愛らしい生徒が多い。それも就職率が良い1つの理由ではないか。

(委員) 各クラス40名で転退学の生徒が少ないことにびっくりする。アクティブラーニングについて、大学生の中には本当に話せないし聞けない生徒もいる。今回の授業でも発言しているのは約3分の1だった。対話ができるような生徒を育てられれば良い。授業では、教卓に背を向ける生徒がゼロになるようにしたい。何か信太モデルを作って、最初は数名の先生で行い、それが学校全体に広がれば良いのでは。

(委員) 大学生は雑談ができて意見も言うことのできる学生は少ない。高校までは段取りされた通りに動いてきている気がする。自ら考え準備をして行動できるように、小中高でアクティブラーニングしてくれると大学でも活動しやすい。グループワークで6、7人は多すぎる。ペアから4、5人へ。多いと誰かに任せてしまう。

(委員) 授業をもっと見たかった。

7 その他

第3回開催日程 令和2年 1月24日(金) 14時00分

8 校長あいさつ